

国語解答用紙 (全二枚) その一

学部名
() 学部
受験番号

氏名

氏名				

集計点

--

一
問一

①	レンケイ
連携	
②	チュウサイ
仲裁	
③	カクダン
格段	
④	ゲネツ
解熱	
⑤	エンカク
遠隔	

	得点
--	----

問二

国民に代わり、生きるうえで削除できない
となみに従事する専門職を国家が養成し、国
民は委託料として税やサービス料を払うとい
うしくみを作ること。

--

問三

生きるうえで必要なことを自ら行える知恵や
わざを身につけていることが大人である
のに、金を払って役割から解放されることで
無能力な子どもそのままの存在だから。

--

問四

トラブルやサービスの劣化が起きた時、強靱
な自律性があれば、社会システムに頼るのぞ
やめて自ら解決できるが、受身に馴らされた
市民はクレームをつけるしかできないこと。

--

問五

かつては小さな個人と国家という巨大な社会
システムの間には地域社会や職業社会とい
った中間集団が介在し、損得だけでない文
化で物事が成り立っていたが、今はそうした
中での「務め」を国家に頼りきりにした結果
、中間集団の空洞化が進み、一元化されたル
ールによって弱者は切り捨てられるようにな
ってきたということ。

--

国語解答用紙 (全二枚) その二

学部名

() 学部

受験番号

氏名							

集計点

--

二

問一

A

生業にしていたので

D

全く心配する様子はなかったということだ。

E

もっともなことではないか。

問二

①

ここがね

②

息子夫婦の貧しさを気にかけて酒を飲みめしない父親に、金銭的な心配がなくなったと嘘をつくことで思いう存分酒を飲んでもらうため箱いっぱい金の酒代にあてるならば、父上が生きていらっしゃる間には使い尽くすことはおできにならないでしょう。

問四

嘘をつか	ないこと	を	自負し、	金	が	ない	など
正直に	言うの	では	なく、	あ	え	て	嘘
で親の	憂い	を取	り除	いた	思	い	や

三

問一

A

私

イ

そこで

問二

景子は丁寧にお辞儀をすることわっていることはいは

問三

もつてとほく(に)すべからず

問四

物の値段の高い安いを知っているのか。

問五

市場の靴の	値段が	左右	そろ	い	もの	より	片
だけの	もの	の方	が	高	い	こ	と
だけ	の	刑	罰	を	受	け	
た	人	が	受	け	て	い	な
い	な	い	人	よ	り	多	い
こ	と	を	景	子	が		
ら	指	摘	さ	れ	、	自	分